

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和4年9月定例会	
議案番号 議案名	<p>認定第1号 令和3年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第2号 令和3年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第3号 令和3年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第6号 令和3年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第7号 令和3年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第8号 令和3年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について</p> <p>認定第10号 令和3年度松戸市病院事業決算の認定について</p>
議員名・会派名等	城所正美 公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>皆様、おはようございます。公明党の城所正美でございます。</p> <p>会派を代表いたしまして、本定例会に上程されております、令和3年度決算、認定第1号から認定第11号までの11件につきまして、委員長報告に賛成の立場から討論を行います。</p> <p>令和3年度一般会計の普通会計の決算額は、歳入で1955億7千200万円、歳出1857億6千700万円になり、翌年度へ繰り越すべき財源8億1千300万円を除いた実質収支は89億円9千200万円の黒字となりました。、令和2年度の過去最大規模だった決算額は下回りましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策の必要性から過去二番目の規模の決算額となりました。</p> <p>令和三年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されたことで、レスリングをはじめとして、松戸市ゆかりの選手の活躍に、皆様も応援し興奮したものかと思えます。ただ日本の社会では、新型コロナウイルスが変異を繰り返し、国内で変異株が猛威をふるいました。令和3年度は、新型コロナウイルスから市民を守る為の予算等が所期の目的に沿い適法かつ効率的執行されたかどうか真摯に審査いたしました。</p> <p>それでは賛成に至る代表的な理由を述べさせていただきます。</p> <p>第2款 総務費</p> <p>令和2年度よりスタートしているRPAについては、令和3年度も、7つの業務で運用された効果により、作業時間合計が約2,800時間の削減、金額としても約1,100万円の削減と、大きく削減効果が出ていることに加え、人為的なミスも減少し、業務の正確性も向上していること、大変評価いたします。</p> <p>今後、新たな業務の導入効果を計る際には、職員の皆さまの作業環</p>

境が改善されるならば是非、積極的に RPA を導入するべきと考えますのでよろしくお願いいたします。

デジタル化推進事業の成果について

AI チャットボットについては、令和3年度実績、

3万3千,649件の市民からの質問へ回答・対応しており、さらに、安心安全メールの配信にも情報提供され、6か国の外国語にも対応したことにより、大幅な利用増加となる効果がありました。市民にとって利便性が図られ、評価するところです。

また、策定した「松戸市行政デジタル化ビジョン」の内容が評価され、県の説明会や総務省の参考事例でも活用されていることも、高く評価いたします。

庁内での起案文書の約14万件を電子決済化したことで、約71万枚の紙の削減、決裁完了までに日数が、平均1.8日早くなるという時間短縮と大きく業務が改善され、評価するとともに、更なる取り組みをよろしくお願いいたします。

テレワークの推進、市民へのデジタルデバインド対策としてのスマートフォン個別講座の更なる推進もよろしくお願いいたします。

男女共同参画支援業務について

地域女性活躍推進交付金を活用しての委託事業「女性のためのつながりサポート事業」の事業内容と成果について

10月スタートの事業ですが、LINE相談窓口もあり、訪問支援、居場所の提供など、寄り添った支援をしていただきました。アウトリーチ型の相談事業は重要と考えます。今後も関係機関と連携強化していただき、相談者に寄り添った支援をどうかよろしくお願いいたします。そして、目的とする女性の自立や就労に向けた「自立回復プログラム」作成の成果を期待しております。

第3款 民生費

子育て支援への取り組みを評価致します。

昨年12月には、日経新聞社と日経 xwoman(クロスウーマン)が発表する「共働き子育てしやすい街ランキング 2021」において、前年度に引き続き総合編1位を受賞しました。

これは、本市が進める保育インフラ整備に加えて、保育所や放課後児童クラブの「質」を担保するための取り組みが、評価されたものと考えます。

さらに、待機児童対策には、戦略的に取り組んでいただき、本年4月時点でも、7年連続で国基準の待機児童ゼロを達成して頂きました。大いに評価致します。

また、今年度は、民間保育所へのハード面での市単追加算の組み替えも、各法人に寄り添って頂いたものと評価するとともに、今後は、ソフト面での支援を何卒宜しく願い申し上げます。

また、地域共生社会の構築に向けて、重層的支援体制整備事業も積極的に推進して頂く中、その実施の初年度に当たり、基幹相談支援センターを既存の1か所から3か所に増設を評価致します。

これにより、他分野との横断的な連携体制を構築して頂くと共に、属性・対象に係わらず、世帯全体の相談を丸ごと受け止める包括的な

相談支援体制の整備が実現できました。

引き続き、まつど DE つながるステーション事業の更なる推進なども含めて、社会的処方への推進を宜しくお願い申し上げます。

第4款 衛生費

ごみ分別排出事業では、本年2月の分別区分変更に伴い「松戸市ごみ処理ガイド」が作成され、ごみの出し方、分け方が分かりやすく記載されたことにより、市民の方から好評でありました。その一方で、不燃ごみと資源ごみの収集方法変更については、まだよくわかっていない人も多く、特に、紙類・布類やビン類・缶類の1週間おきの交互収集については、更なる周知が必要と考えます。今後、ゴミステーションにわかりやすく収集日を掲載するなど、市民への周知改善に努めて頂きたいと思います。

第5款 労働費

若者就労支援業務で、「まつど合同企業説明会」及び、新規事業の「就職氷河期世代キャリア支援プログラム」はコロナ禍で多くの若者が苦労している就労に対して支援して頂き感謝申し上げます。今後とも引き続き更なる若者就労への支援をお願いいたします。

第6款 農林水産業費

環境保全型農業推進事業の環境にやさしい農業推進事業の補助金につきまして、根を腐らせる病気に専用処理機を使い農薬を使わず菌の繁殖を抑える白紋羽病対策を実施いただき、評価いたします。農薬を使わない、又は減らす農業に一層のご努力をお願いいたします。

第7款 商工費

中小企業活性化支援業務

中小企業デジタル化チャレンジ補助金について

中小企業の存続には、人材不足に勝ち、より効率的な経営を目指すことと思います。それには、中小企業のデジタル化は必要不可欠であります。松戸ビジネスサポートセンター「ビジまど」による専門家相談により、売り上げや生産性の向上等にご期待申し上げます。

続いて、経営支援事業

プレミアム付き商品券発行事業は、発行利用総額 19 億 4219 万円。

利用店舗数は 1371 店舗。利用者へのアンケート結果で

推計 5300 人が「初めてののお店を利用した」

推計 1 万 1700 人が「普段市外で購入していた商品を市内で購入した」

推計 4 万 4000 人が「事業終了後も地元の店舗を利用したい」と回答し、市内での、新規並びに、地元商店への支援につながったとし評価します。

第8款 土木費

既存建築物耐震診断・回収促進事業の内、危険コンクリートブロック塀等対策について、

令和3年度は24件の改善の確認ができ、状態の悪いブロック塀等の24か所の所有者に戸別訪問などおこない、補助制度の周知や改

善指導の実施に感謝申し上げます。災害時、子どもを始めとして市民の命がかかっておりますので、今後とも一層のご努力をお願いいたします。

続いて市街地整備事業

「六実・六高台地区まちづくり現況調査業務委託について、この予算で、人口・交通・土地建物利用等の調査を実施したとの事。地元住民の声をしっかり受け止めて進めてください。

続いて市内公園緑地管理事業

公園遊具等長寿命化対策工事

市内の遊具の安全点検、そして遊具の施設更新に一層のご努力をお願いいたします。

総合公園整備事業について

21世紀の森と広場施設整備業務、「遊びのすみか」の供給が開始され過去最高のご来園をいただきました。評価いたします。今後、自然と触れ合い楽しい公園にご努力をお願いします。

第9款 消防費

ちば北西部消防指令センター事業について

当初、6市共同運用において、消防部隊の管理・災害情報の処理は、共同指令センターで一元管理を基本としてきましたが、近年の多様化する災害や予想を超える災害への対応強化が課題となっていました。

そこで、災害対策システムを新たに導入し、対応強化が図られました。10市共同運用がスタートし、「運用の効率化による市民サービスの向上」「災害対応力の強化」「整備費用の削減」と大きな成果となりました。高く評価をするところです。今後も10市の256万人の生命、財産を守るため、ご尽力いただきたくよろしくお願い申し上げます。

第10款 教育費

児童生徒活動支援事業では、法律相談業務等委託料では児童生徒だけではなく、教職員へのトラブルにも対応していただき、弁護士の存在の大切さを確認できました。

今後はさらに弁護士の人数を増やしていただき全小中学校のサポートをよろしくお願い申し上げます。

WEBQU 調査委託料では、いじめなどのまったなしの問題にスピード感をもって対応できたことを評価したいと思います。

・小学校及び中学校の施設維持管理事業では、屋内体育館トイレ改修工事において車椅子対応の工事は順調に改修が進んでいることがわかりました。

災害時の避難場所になる体育館に、車椅子対応トイレがあることで児童生徒はもとより、市民で車椅子トイレを必要とされる方への、安全安心なまちづくりの環境整備につながると思います。

来年の夏までに残り11校の改修をよろしくお願い申し上げます。

・中学校の要保護及び準要保護生徒修学援助費ですが、対象保護者より、修学旅行の費用は旅行後に戻ってくるとしても事前に立て替え

が難しいとのお声も伺っています。
経済的に困難なご家庭の児童生徒が参加出来ずに一生に一度の思い出が作れなかったということがないように、保護者への負担がかからない方法のご検討を要望いたします。よろしくお願い申し上げます。

認定10号 病院事業会計

病院事業においては、総合医療センターの経営改善を評価致します。

コロナ禍の中にあって、第二次病院事業改革プランの最終年度という重要な年度を迎え、難しいかじ取りを求められたところですが、医業収益は、前年度と比較して約 13 億 6 千万円増の約 176 億円となり、コロナ前の令和元年度を上回る数字を実現して頂きました。

また、医業外収益におきましても、新型コロナ関連病床の確保など、補助金が約 3 億円増となるとともに、経営努力により一般会計からの繰入金を約 5 億円減少して頂きました。

以上により、経常損益は約 2 億 3 千万円の黒字を確保し、最終的な当年度純利益にあっても、1 億 9 千万円の黒字を実現して頂きました。

当年度純利益の黒字化は、10 年ぶりのことであり、大いに評価したいと存じます。

引き続き、第三次病院事業改革プランの取り組みを強化するとともに、東松戸病院の閉院に伴う民間医療機関の着実な参入に向けて、ご尽力賜りますよう、お願い申し上げます。

以上各会計の令和3年度決算に賛同する趣旨を述べさせていただきました。コロナ禍におきまして、本郷谷市長を始め関係各位のご尽力に対し、心より敬意をあらわしますとともに、審査の過程におきます執行部の皆様方のご丁寧な答弁に改めて厚く感謝を申し上げます。認定第1号松戸市一般会計歳入歳出決算の認定から認定第11号松戸市下水道事業までの11件に対する賛成の討論とさせていただきます。ありがとうございました。